



中央教育研究棟の屋上に設置されたGHP室外機



目白キャンパス 正門

**学習院目白キャンパス**

所在地／東京都豊島区目白  
 施主／学校法人 学習院  
 空調設備工事／パナソニックES産機システム株式会社



中央教育研究棟 外観



南7号館の講義実験室



中央教育研究棟のパッケージエアコン



西5号館屋上のナチュラルチラー(吸収式冷凍機)  
 ※P-AIMSとの接続を検討中



北1号館屋上のGHP室外機



南2号館管理室のP-AIMS

**学習院目白キャンパス**

GAKUSHUIN MEJIRO CAMPUS

**カリキュラム連動の空調制御システムを  
 広域で連携してCO<sub>2</sub>排出を削減**

2010年、東京都は国の基準と比較しても厳しい、5年間で8%のCO<sub>2</sub>削減を義務付ける環境確保条例を施行。また、経産省の省エネ法改正、環境省の温対法などによりCO<sub>2</sub>排出量削減が強く求められてきた。その対策として、学習院は空調エネルギー削減に着手。約20年前から当社が納入していた冷暖房が可能なガスヒートポンプエアコン(GHP)を本格導入するとともに、キャンパスが広域で建物も多いため、各施設における空調機器の集中監視と自動制御によるCO<sub>2</sub>排出量削減が計画された。

空調システムの広域群管理にあたっては、空調制御システム「P-AIMS」を大学の授業運営に合わせてカスタマイズすることで、カリキュラム連動により講義室の空調設備をスケジュール制御。授業開始20分前に空調稼働、授業が終わると強制終了させ、設備監視センターからの監視・制御も可能となっている。設備の採用にあたっては、空調を中心とした設備機器を監視制御できる「P-AIMS」に加え、当社にガスと電気空調機ラインアップがあり、使用状況や規模によって選択できることが評価された。これらの試みにより、2010年から3年間で平均約20%のCO<sub>2</sub>排出削減が達成<sup>※</sup>されている。

※目白キャンパスにおいて、他社製品も含む

システム概要

南2号館 P-AIMS 1台	<b>中央教育研究棟</b> P-AIMS 1台 PAC 23馬力 GHP 730馬力
	<b>南7号館</b> P-AIMS 1台 GHP 980馬力
	<b>学習院創立百年記念会館</b> GHP 66馬力 吸収式 300RT
	<b>卓球場</b> GHP 32馬力
	<b>北別館</b> GHP 28馬力
	<b>東別館</b> GHP 45馬力
	<b>北1号館</b> GHP 330馬力
	<b>東1号館</b> GHP 131馬力
	<b>西1号館</b> GHP 393馬力
	<b>西5号館</b> 吸収式 360RT
	<b>富士見会館</b> GHP 109馬力
	<b>中・高等科校舎</b> GHP 45馬力
	<b>女子大学5号館</b> GHP 60馬力

主な設備

- 空調制御システム「P-AIMS」
- ガスヒートポンプエアコン (GHP)
- ナチュラルチラー (吸収式冷凍機)
- パッケージエアコン